

## AX-U1P foobar2000+ASIO ソフトウェア・インストール・マニュアル

### ソフトウェアのインストール

#### 本ソフトウェアを動作させるにあたり必要な PC

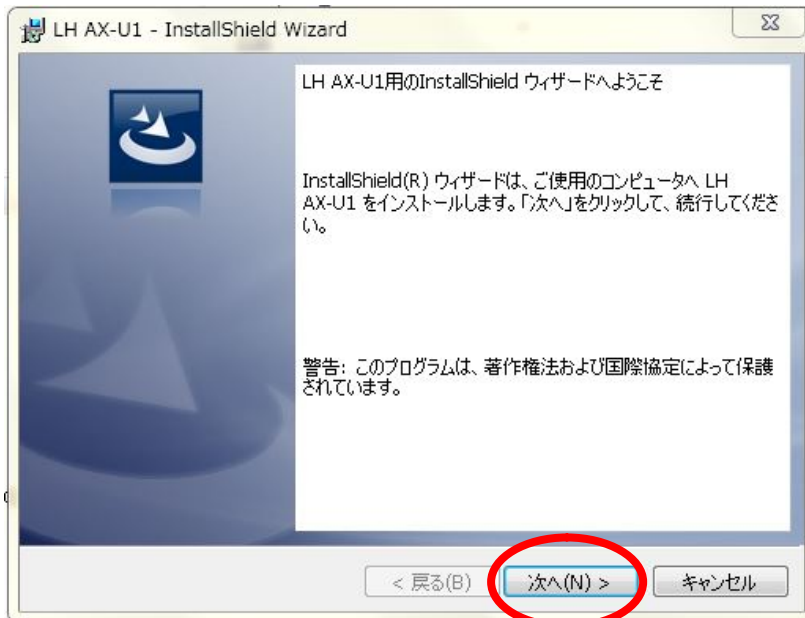
PC の最低条件 CPU:ATOM 1.6GHz メモリー:1GB CD ドライブ

推奨:CPU:CORE i3 2GHz 以上 メモリー:2GB 以上 20 倍速以上の CD/DVD コンボドライブ(PCM to DSD)

**LH AX-U1 オーディオドライバーのインストールのときは AX-U1P の電源は入れないでください。**

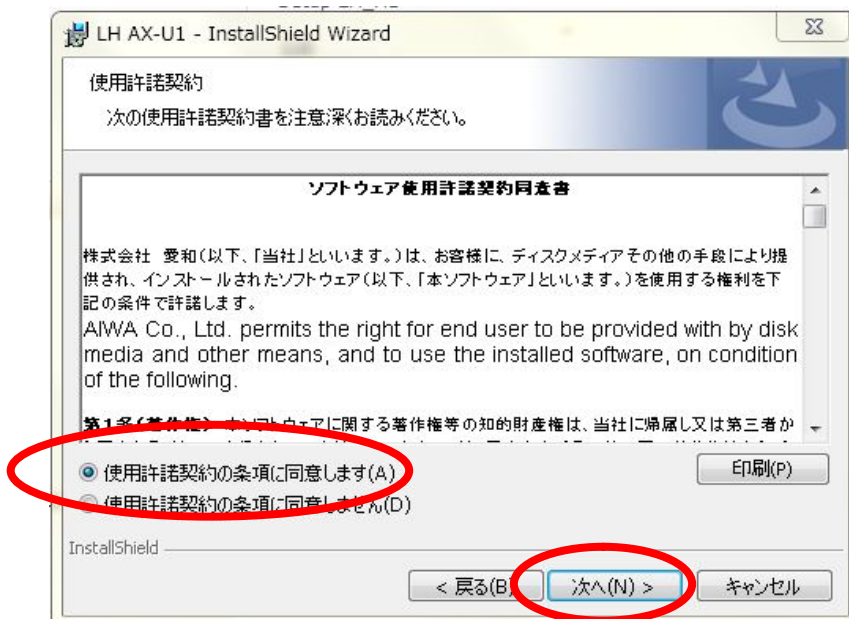
#### セットアップ

1. ドライバーソフトウェアのCD-ROMをドライブにセットします。
2. AX-U1\_Drivers\_Software のフォルダーを開きます。
3. Windows XP, Vista, 7, 8 (32 ビット)では Setup LH\_HS32.exe をダブルクリックしてインストールします。  
Windows 7、Windows 8 (64 ビット)では Setup LH\_HS64.exe をダブルクリックして  
LH AX-U1 オーディオドライバーをインストールします。
4. 途中で聞いてきますが、すべて、はい(Yes)または「許可する」「インストール」をクリックしてください。

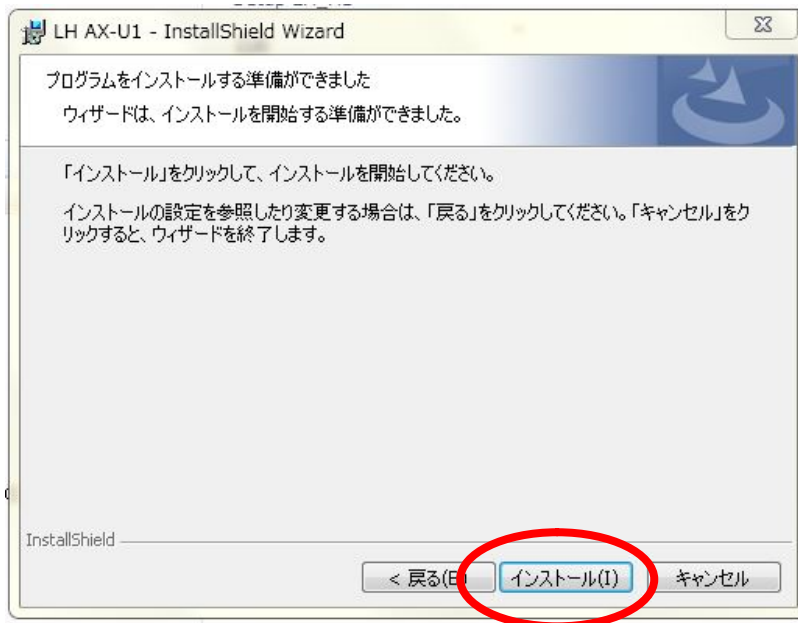


「次へ」を選択(クリック)します。

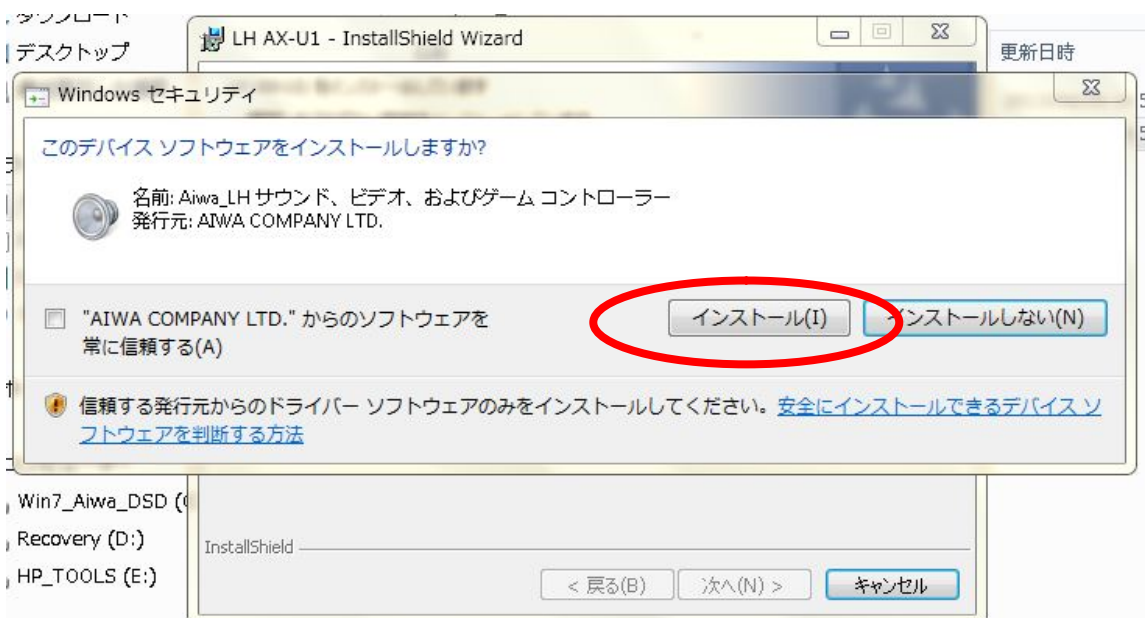
画面は Windows7 のものです。



次に進む前に、先に  
‘同意します’ にチェックを  
入れてください。  
その後で「次へ」を  
クリックします。



「インストール」をクリック  
します。



「インストール」  
をクリック  
します。

以下 **x** はバージョン番号の意味です。(実際のファイル名はここに数字が付けられています)

オーディオドライバーのインストールが終了しましたら、次に ASIO ドライバーをインストールします。  
**foo\_input\_sacd-0.6.x** のフォルダーに移動して **ASIOProxyInstall\_0.6.x.exe** をダブルクリックし  
ASIO Proxy ドライバーをインストールしてください。

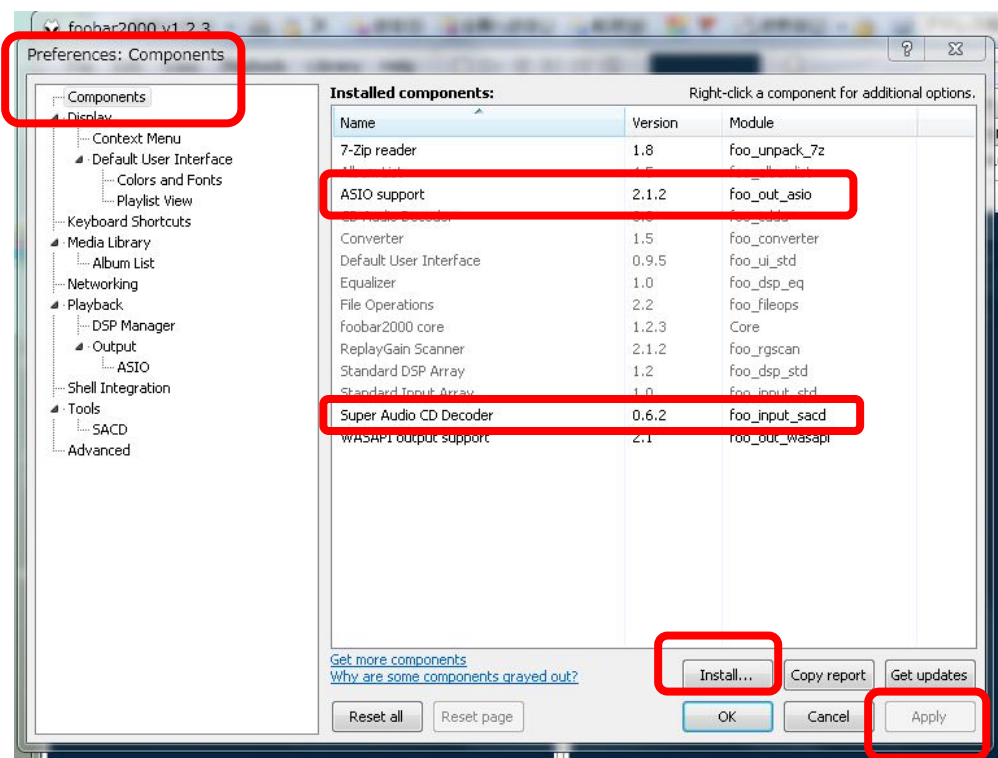
**再生ソフトウェアをインストールする前に AX-U1P と PC を USB ケーブルでつなぎ AX-U1P の電源スイッチを押し、  
パワーインジケータを点灯させて動作させてください。ほかの機器は接続しなくても設定できます。**  
foobar2000 以外の再生ソフトウェアのときは、ここからはそれぞれのインストールマニュアルをご覧ください。  
なお、**機器の接続は各ソフトウェア共通ですので、foobar2000 のインストールの次(7ページ)をご覧ください。**  
以下は foobar2000 を利用する場合です。

## 再生プレイヤー foobar2000 とコンポーネント（プラグイン）のインストール

1. 再生ソフトウェアの foobar2000\_v1. x. x. exe をダブルクリックしてインストールしてください。
2. foobar2000 を起動して メニューバーのメニューから File→Preferences を開きます。
3. 第 1 図のように初めに Components をクリックしてプラグインを確認します。
4. Install ボタンをクリックして、CD ドライブの foo\_out\_asio. fb2k-component をクリック（選択）して foo\_out\_asio をインストールします。Apply ボタンをクリックして foobar2000 を再起動します。ASIO support に asio (foo\_out\_asio) が表示されているか確認します。
5. 次に CD の foo\_input\_sacd-0. 6. x のフォルダーを開きます。
6. CD の foo\_input\_sacd. dll をドラッグして、foobar2000 のプラグイン (Installed components) のウィンドウにドロップします。
7. foobar2000 が自動的に再起動します。（確認がありますので OK ボタンをクリックします）
8. 同じようにメニューから Preferences →Components を開き、第 1 図のように Super Audio CD Decoder が追加されたことが確認できれば、すべてのインストールは完了です。

ご注意：あらかじめ foobar2000 がインストールされている PC で Resampling は使用しないでください。

第 1 図でコンポーネント内に foo\_out\_wasapi は大丈夫ですが、foo\_input\_dsdiff は削除してください。

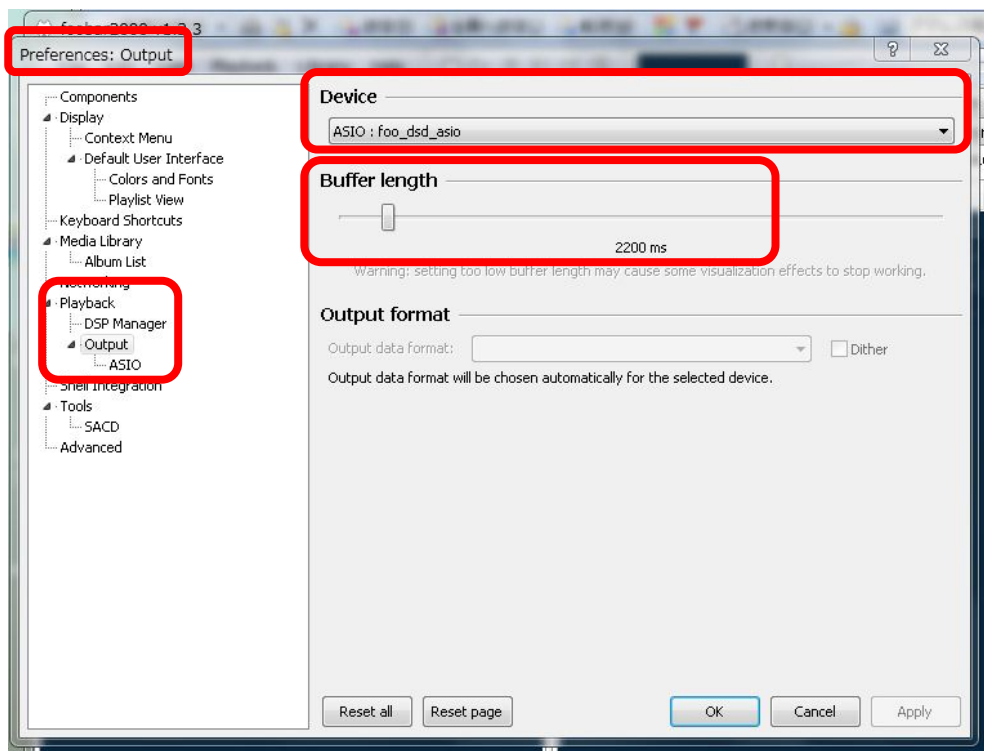


第 1 図

## foobar2000 の DSD 再生設定

Preferences→Playback→Output を開き、第 2 図のように設定してください。

Device は ASIO : foo\_dsd\_asio を選択します。



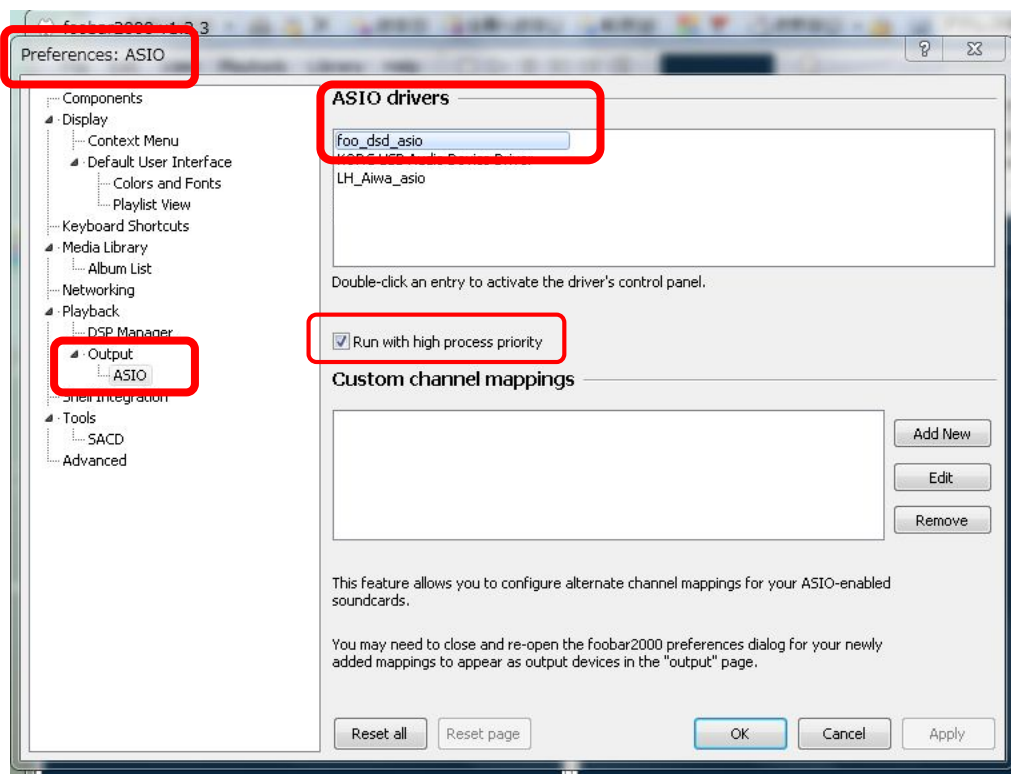
第 2 図

第 2 図で Buffer length (バッファ長) は最低 1000ms 以上としてください。

PC の能力により音が途切れる場合 1400ms から 5000ms 程度に増やすなどの調整が必要です。

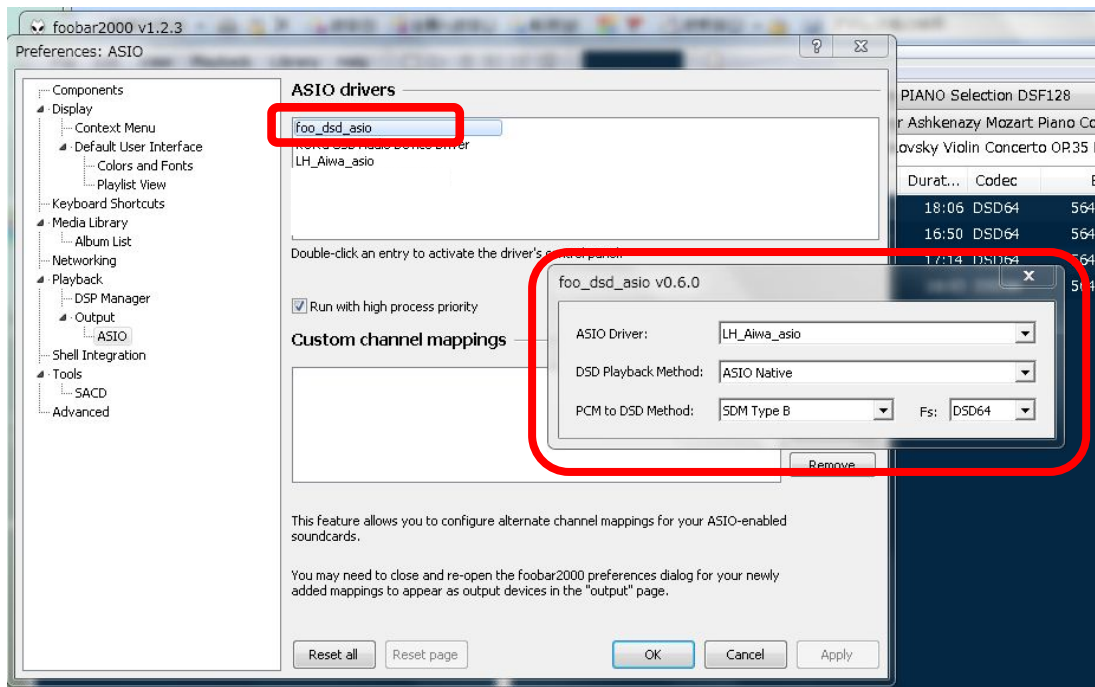
(PC のメモリーにより大きく増やせない場合もあります)

第3図のように Playback→Output→ASIOを開き ASIO drivers→foo\_dsd\_asio をダブルクリックします。



第3図

タスクバーにアイコンが現れますので（点滅）、クリックして第4図のようにウィンドウを表示させてここで ASIO Driver: に LH\_Aiwa\_asio を選択します。



第4図

DSD Playback Method (DSDの再生方法)は ASIO Native を選択してください。

foobar2000ではAX-U1PはPCM to DSDは44.1kHz/16ビットのみでfoo\_input\_sacd 0.6.4以降でないと通しません。SDM(シグマデルタ変調→PDM→DSDと同じ意味)設定はBまたはC、fsはDSD64でないとCPU

の負荷が大きいため音が途切れたりすることがあります。

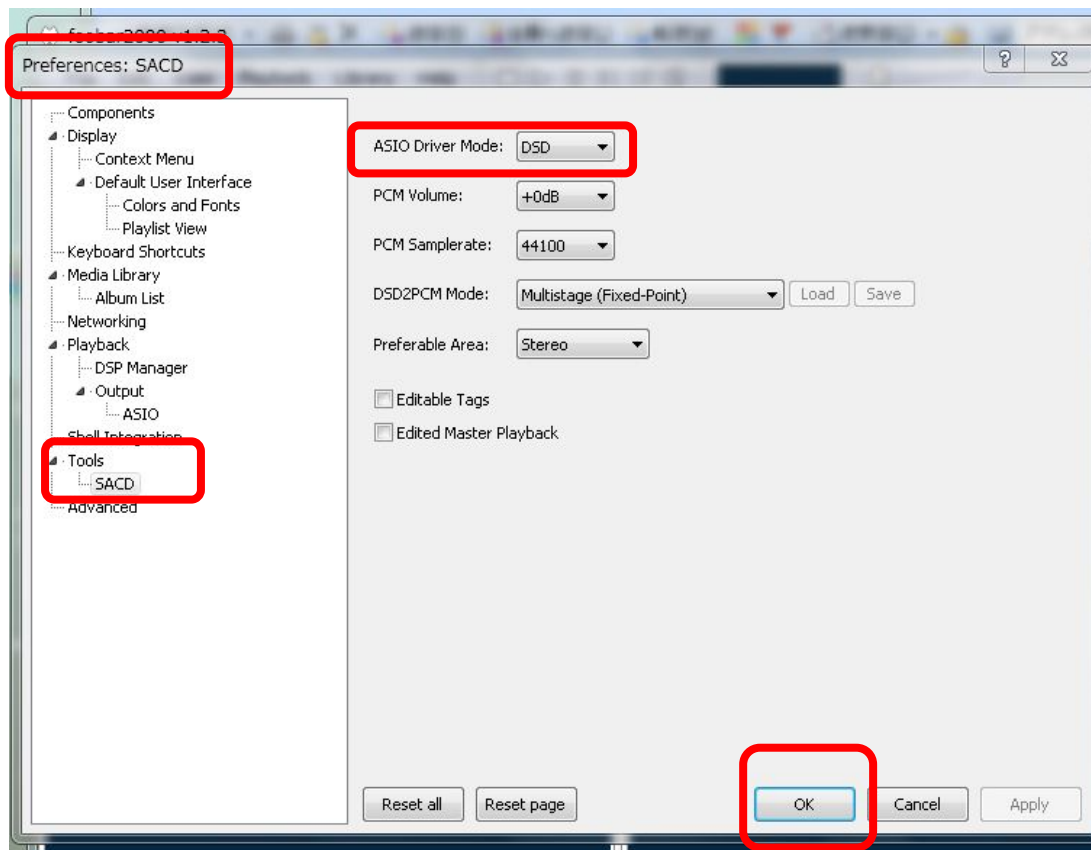
PCM to DSD は PC の能力が CPU (CORE i3) 2GHz 程度必要です。高速 CPU であれば Fs:DSD128 の設定をしてください。

DSD ファイルであれば ATOM 1.66GHz 程度の PC でも DSD128 の再生が可能です。

閉じるボタン foo\_dsd\_asl v0.6.x のウィンドウを閉じます。

最後に Tools→SACD をクリックして、第5図のように ASIO Driver Mode: で DSD を選択します。

OK ボタンをクリックして完了です。



第5図

foobar2000 の設定は以上で終わりましたので、1度 foobar2000 を終了し、すべての機器を次ページの様に接続して、順に電源を入れ、foobar2000 を起動して音楽をお楽しみください。

ここからは、各再生ソフトウェア共通です。

## 機器の接続

1. PC 以外は電源を入れずにアンプの AUX IN と AX-D1 の LINE OUT を RCA ケーブルで接続してください。
2. AX-U1P の DSD OUT 1 と AX-D1 の DSD IN を HDMI ケーブルでしっかりと接続して下さい。  
特に AX-U1P とコネクタとは隙間ができません。カチッと音がします。
3. AX-U1P に USB ケーブルのタイプ B 側のコネクタを接続して下さい。
4. USB ケーブルの残りのコネクタ (タイプ A) をパソコンの USB 端子に差し込みます。
5. AX-U1P の電源を ON します。パワーインジケータが点灯します。
6. AX-D1 の電源を ON します。(必ず AX-U1P の電源を ON にしてからにしてください)
7. PC 側で AX-U1P の認識が行われ、ドライバーの使用準備 (ドライバーインストール) が自動で行われます。  
Windows Vista の場合画面の指示に従ってタスクバーの指定場所をクリックしてください。  
(次からは使用準備が不要になり自動で認識されます)
8. アンプの電源を入れ、ボリュームは最小にしておいてください。

## 楽曲の再生

foobar2000 を起動して、プレイリストを読み込み (Load playlist) か、またはファイル (Add files) またはフォルダー (Add folder) を選び、DSD 音楽データを読み込みます。

プレイボタン (Playback/Play) または曲のダブルクリックで再生が始まります。

ご注意: 1 曲目の先頭で再生開始時にプチノイズが出る場合がありますが故障ではありません。

000\_LH Null Signal.DSF という 3 秒間の DSD128 の無音データを同梱してあります。音楽フォルダーに

コピー (My Music フォルダー等) して無音の DSD 音源ファイルとしてご利用ください。(Add files で先に読み込んでおくと 1 曲目として先頭に入ります。その後 Add folder でアルバムを選択します)

曲の先頭に無音の音源を入れることによりアンプをミュートまたはボリューム最少から始めることができます。

楽曲が始まる前にミュートをオフまたは通常程度にボリュームを上げていってください。

AX-D1 ではリセットスイッチを押している間ミュートできます。(ミュートと同じ動作をします)

また、連続再生時には 2 曲目以降プチノイズは出ませんのでご安心ください。

foobar2000 以外では曲リスト、アルバムフォルダーリストが自動で作られますので、アルバムを選択し、PLAYBACK ボタンをクリックして再生してください。

## 電源を切るときの順序

1. 必ずアンプのボリュームを最小にして、アンプの電源から切ってください。
2. 次に AX-D1 の電源を切ります。
3. AX-U1P の電源を切ります。
4. 必要に応じ PC をシャットダウンします。

**AX-D1 は AX-U1P からクロックが送られて動作していますので、必ずこの順番でお切りください。**

KORG 社の AudioGate で PCM や FLAC の音源データから DSD に Export (変換) をするときは、曲を全選択して、ゲインを -3dB として頂くと、ピークでのクリップや歪みなく変換されます。この設定でも弊社製 AX-D1 の内部で増幅度を持たせていますので音量が小さくなることはありません。

Windows はマイクロソフトの、CORE i3,CORE i5,CORE i7 は INTEL の登録商標です。

LH *Love Harmony* (株) 愛和  
Aiwa Co., LTD – Love Harmony